

瑞浪恵那道路ではたらく技術者特集 part.3

【令和2年 1月版】

瑞浪恵那道路の現場ではたらく技術者のみなさんを、私“みずえちゃん”が紹介しますよ！

今回は、
『平成30年度瑞浪恵那道路瑞浪地区下部工事』の
管理技術者 伊藤さんをインタビューしました。



多治見砂防国道事務所では、国道19号瑞浪恵那道路の事業のことを広く知っていただく取り組みの一つとして、工事現場ではたらく技術者を紹介しています。

第3回は、市道東濃用水2号線の滝沢川付近にて橋の土台(橋台)を造っている株式会社 板垣建設の伊藤さんを紹介します。

1. 伊藤さんの横顔など

- 出身地：岐阜県瑞浪市
- 入社：平成29年入社
- 好きなこと・趣味など

友人と理由もなく京都に出かけたときに、人生で初めての座禅に行ってはまっちゃったみたい。今では同業者の友人達と、仕事で疲れ切った身体も定期的に座禅をすることでスッキリさせているみたいよ。

小学校2年生からスピードスケートをやっていて中学1年生から高校3年生まで全国で活躍していたみたい。



2. 伊藤さんがこの仕事を選んだわけ

高校3年の冬になっても進路が決まっていなかった伊藤さんに「板垣建設に来てくれたら専門学校に行かせてやる」という話が舞い込み、当時高校生だった伊藤さんはその一言でこの業界にヘッドスライディング！

社会人でもあり、学生でもある2年間は毎日が充実していたみたいよ。

3. 多治見砂防国道作業所での伊藤さんの役割など

工事現場で作業員の方たちとコミュニケーションをとり働きやすい環境づくりが一番大切にしているみたい。

普段は現場に出ることが多く、図面と現場を照らし合わせ、計画通りに現場が進んでいるか確認をしたり、現場の作業状況などの写真を撮っているみたい。



組立後の鉄筋の確認

4. インタビュー【現場での工夫やアピールポイントなど】

「専門学校を卒業して初めての現場なので分からないことばかりで不安でした。専門学校の講師の先生の『まずは現場を綺麗にすることが大切』という言葉をお忘れなくしています。地元の方も現場に足を運んでいただけて声をかけてくださいます。そういった時に現場の資材が散らばっていると印象は良くありません。

先日高校生の建築業のイメージを聞ける機会がありましたが、現場は汚そう、怖い人が多いなどと悪い印象しか持っていませんでした。工事現場は資材の整理などを行っていけば綺麗な現場になります。確かに強面の方もいますが話しかけてみると優しい方ばかりで休憩中のコミュニケーションが楽しくなってきます。建築業は皆さんが思っているイメージよりとてもやりがいのある仕事です。」



橋台および工事用道路の工事の様子



安全教育訓練の様子

5. 編集後記

私も座禅に行ってみようかしら！
地域の発展のために頑張ってください。応援してます！

さて、次回は

『セントラル建設株式会社』の 井上さんの特集します！
軽快なお仕事ぶりを紹介しますよ。ご期待ください。

